

平成23年度 第4回 神林地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成24年2月7日(火) 13:30～15:30
2. 開催場所 神林支所 3階第4・5会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、佐藤巧、石田フミ、近秀一、鈴木誠兒、三浦公平
小池知恵蔵、横山一巳、佐藤たみ子、渡辺優子、小田美千子
4. 欠席委員 小野篤
5. 出席職員 齋藤神林支所長
(事務局) 神林支所地域振興課；山田室長、鈴木副参事、田村主査、
齋藤主査、東主査
6. 傍聴者 1名
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成23年度 第4回神林地区地域審議会次第

日 時：平成24年2月7日（火）13:30～
会 場：神林支所3階第4・5会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1)「(仮)定住の里づくり アクションプラン」の答申案について

4 報 告

(1)「地域まちづくり組織」設立準備会の状況及びアンケート結果について

5 そ の 他

6 閉 会

会 議 経 過

1 . 開会 (13:30)

事 務 局 ; ただ今から、第4回神林地区地域審議会を開催させていただきます。開会にあたり、会長からごあいさつをお願いします。

2 . 会長あいさつ

会 長 ; 今日は、道足の悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。今回で、第4回目の地域審議会になります。

第2回に市から諮問をいただいた「(仮)定住の里づくりアクションプラン」ですが、プロジェクトごとに委員のみなさんから、建設的で活発なご意見をいただいて、第3回の審議会でも続けて議論してきたものです。

今日は、これまでの議論をもとに作られた答申案の精査をしていただいて、立派な答申としたいと思いますので委員のみなさんのさらなるご協力をお願いいたします。

3 . 議事

(1)「(仮)定住の里づくり アクションプラン」の答申案について

会 長 ; それでは議事に移ります。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 ; 【答申書の経過説明】

会 長 ; ただ今、事務局から答申書を作り込むまでの経過説明がありましたが、疑問な点や質問がありましたらお願いします。

確認ですが、アンダーラインの引かれているところが、四角で囲まれた文案に活かされているということですか。

事 務 局 ; はい、そのようにしましたが、解釈の違いなどがあるかもしれませんので、ご確認いただきたいと思います。

会 長 ; ほかにありませんか。

ないようですので次に進んでください。

事 務 局 ; それでは、事務局で作りました案を一つひとつ確認しながら、全体をまとめていただければと思います。

【答申書(案)前文の説明】

会 長 ; こちらについてのご意見、疑問などはありませんか。

委 員 ; よくまとまっていると思います。

会 長 ; ほかにありませんか。

ないようですので、これでよろしいですか。

一 同 ; 異議なし。

事 務 局 ; 発言の内容と事務局の捉え方の主旨が違っているようでしたら、適宜ご指摘をお願いします。

【(1)産業元気プロジェクトについて説明】

会 長 ; このことについて、何かご意見はありませんか。

- 委員； 「農商工連携」と「6次産業化」の違いとは何でしょうか。私は「農商工連携」は「6次産業化」の中に含まれると思います。二つも言葉はいらないのではないのでしょうか。
- 事務局； 「6次産業化」は農林水産省の施策、「農商工連携」は別の施策ですので、できましたらこの表現でお願いしたいです。
- 委員； 「6次産業化」が上で、「農商工連携」がその下の位置付けになるような気がします。今の文章だと「農商工連携」が上に捉えられているように思います。わかりづらいです。
- 事務局； 答申案の作り込みの中で、「農商工連携」は広い範囲を指し、「6次産業化」はより具体的な部分を指すことと捉えています。
- 委員； 明確に答えられるのであれば、これでいいと思います。
- 委員； わかりづらい言葉には、どこかに言葉の意味の説明を入れておけばいいと思います。
- 会長； ほかにありませんか。
ないようですので、次をお願いします。
- 事務局； 【(2)交流・体験プロジェクトについて説明】
- 会長； こちらについてのご意見、疑問などはありませんか。
- 委員； 7ページの 魅力ある地域づくりの(イ)に「日本海きらきら羽越観光圏」とありますが、圏域はどこですか。
- 事務局； 新潟県、山形県、秋田県です。
- 委員； 「ゾーニング」という言葉がありますが、これからするのかどうか、またどういう「ゾーニング」のことなのでしょう。答申書案には「家を建てて住んでもらう」とあるので、そういった場所の「ゾーニング」をしてあるのでしょうか。
- 事務局； 合併当初の審議会に答申されたものがあります。それは、旧市町村を単位とした広域の「ゾーニング」でした。ただ今委員が言われました「ゾーニング」はしていません。
- 委員； 7ページの 定住、交流人口の拡大の(ア)に「クラインガルテン(市民農園)の利活用の推進」とありますが、できたばかりで好評だと聞いているのに「推進」と使っているのは、もっと後押しをしなければいけないような表現になっている気がします。
- 事務局； アクションプランの素案につきましては、事務局で集まったときに、こういう指摘があったということを説明したいと思います。
- 会長； 先ほどのきらきら羽越の観光圏の説明など、以前にいただいた資料に語句の説明が載っている資料があったかと思えます。
ほかにご意見はありませんか。
ないようですので、次をお願いします。
- 事務局； 【(3)健やか・子育て応援プロジェクトについて説明】
- 会長； こちらについてご意見、疑問などありませんか。
- 委員； 文案の最初に「運動と食育と地産地消」とありますが、私は「運動」と「食

育」の総合的な取り組みということで、「地産地消」というのは「食育」に関して「地産地消」が望ましいことだと思うので、三つが並列で入っているのはおかしいと思います。

委員； 関連してですが、最初は「運動」ではなくて「食育」だと思います。

前回の審議会でも発言しましたが、「食育」と「生きがい」と「運動」は同じだと思いますが、「地産地消」は「食育」の中に入る言葉だと思うので、いらないと思います。

事務局； それでは、ただ今のご意見を踏まえまして、「運動と食育と地産地消を連携して」の部分で、「食育と運動を連携して」に変えてもよろしいでしょうか。

委員； アクションプラン素案の、健康づくりの推進の（ア）と（イ）も順番を反対にしたほうが良いと思います。食育が先で運動が後だと思います。

それと（イ）に「村上地域食育ネットワーク」という組織があると思うので、こちらの組織も大事で「地産地消推進協議会」の前に入れたほうが良いと思います。

委員； この取り組みを、「村上地域食育ネットワーク」ですで行っているのでも入れたほうが良いと思います。

事務局； 諮問を受けたのはあくまでも素案ですので、文言表記を変えたほうが良いというご意見は、事務局の集まりのときにしたいと思います。

会長； ほかにありませんか。

ないようですので、次お願いします。

事務局； 【（４）人づくりプロジェクトについて説明】

会長； こちらについてのご意見、疑問なところはありますか。

委員； 「地域支援の登録がなされ環境が整っている」とありますが、登録体制ができてることなのか、もう少し広い意味のことなのか表現があいまいだと思います。

「郷育」について、地域支援の登録体制はできていますが、実働はできていないのが問題だと思いますので、「環境が整っている」という言葉が気になりました。

事務局； 「環境」という言葉は、登録体制はできているということですので、「環境」から「体制」に訂正していただきたいと思います。

委員； 「地域支援の登録」とは何のことですか。

事務局； 「郷育」などで募集している、ボランティアで活動をしてもらう方々のことです。

委員； 人のことですか。

事務局； はい、そうです。

委員； 登録自体はできていますが、その先の事業自体をどうするかは不明確になっていると思います。「整っている」という言葉が入ると、全部できているのに何もしていないという印象を受けてしまうと思います。

会長； 「環境が整っている」という言葉は、どこから持ってきたものなのでしょうか。

事務局； 10ページの1行目の「24.現にボランティア登録をしているわけですが」の部分と、3行目のアンダーラインが引かれている「形だけ作ればそれで終わりになっていて、それを使ってこそ初めて利用価値が出てくるのにそこまで至っていません。」から持ってきました。

委員； これは、私の発言でしたが、登録はしたけれども何も進んでいないと感じていて、登録をしたから単純にそれを活用すればいいということではなくて、もっと広い意味で言ったつもりでした。

「郷育」はまだまだ問題があると思うのに「整っている」と表現するのは違うと思います。

委員； 私は「郷育」は本来学校が必要としている支援ではなく、この事業をやるために作った組織で、逆に学校に負担をかけているように感じています。せっかくある組織なので、うまく活用できるようにしていければと思います。

事務局； この文案は、これまでの審議会での委員の発言の主旨も理解しながら考えました。さまざまな言葉が出てきていましたが、言いたいことを端的に表現するときに、このような表現となりました。

委員； 今あるものをPRして発展させていくという考えでしょうか。

事務局； はい。それで「整っている」という言葉がネックだというご意見ですので、先ほど「環境」を「体制」に訂正しましたが、「体制が整っ」までを削除して、「地域の支援の登録がなされているので」に訂正したいと思います。

委員； 文案の6行目の文章に、「市民そろって健康」とありますが、全市民がそろるのは難しいと思うので、「市民が」に変えたほうが良いと思います。

委員； それと、3行目の「活動事例の紹介を行い、その情報交換を行う」を、2行目の「登録を受けている方々の力添えを」の前に入れると表現が自然で良いと思います。

もう一つ、同じ箇所の「登録を受けている方々」という言葉もいらないのではないかと思います。今登録されている人に限らず、さらにもっと多くの人に登録をしてもらいたいので、いらないと思います。

事務局； これまでの意見を訂正したものを確認します。

『「郷育のまち、村上」の推進につきましては、地域支援の登録がなされているので、活動事例の紹介や、その情報交換を行いながら、今まで以上の力添えを具体的に明記していかなければならないと考えます。

生涯学習の充実では、前段のプロジェクトと同じように講座等により人材の育成が必要と考えます。

生涯スポーツの充実では、推進している団体の活動を十分に周知し、市民が健康、体力づくりに励むよう勧める必要があります。』と訂正しました。

会長； 以上のとおり訂正しましたが、これによろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

会長； それでは、次お願いします。

事務局； 【(5)暮らし応援プロジェクトについて説明】

会長； こちらに対して、ご意見、疑問はありませんか。

- 委員； 「災害時の要援護者」とありますが、「援護者」に変わる呼び方はないでしょうか。
- 会長； 各集落の要援護者リストが区長に渡されてありますので、呼び方は変えられないと思います。
- 委員； 二つありまして、一つ目はアンケートについてですが、何というアンケートなのか教えてください。
- 事務局； 総合計画のアンケートです。
- 委員； もう一つは、文案の最後に「誰にでも優しいまちづくり」と書かれていて、文書の途中に「災害が少なく思いやりがある」と書かれていますが、優しいと思いやりの違いは何ですか。
- 事務局； 思いやりは、アンケートの項目に出てくる言葉を使ったものですし、優しいとは全く関係のない言葉です。
- 委員； わかりました。
どこから持ってきたものか、何で調べたものかを入れておいたほうがわかりやすくいいかと思います。
- 事務局； 【総合計画のアンケート結果のコピーを配付】
わかりました。注記を入れて作りたいと思います。
- 会長； ほかにありませんか。
ないようですので、次お願いします。
- 事務局； 【3 地域活性化に向けて各地域で特に取り組む施策の方向性の説明】
- 会長； ただ今、事務局から説明がありましたが、ご意見、疑問などありませんか。
- 委員； の文案で、「健康・観光・加工品」と三つ併記されていますが、加工品と一緒にしているのはおかしい気がします。
- 事務局； 「健康・観光」は、当然必要な大事なポイントですし、これから6次産業化をして事業を行っていく方は、農産物の生産販売だけでなく加工した製品も手がけると思います。その方たちへの人的支援も必要と考えて「加工品」という言葉を入れました。
- 委員； 加工品としての魅力ある産業は、いろいろな分野と連携をして農業という今までの取組みに加工品を使いながら、健康にも役立て、観光にも発展していくという意味合いがあると思います。
- 委員； 現在の観光は、文字に書くと「感じる交わる」の「感交」に変わってきています。見るだけではなくなっています。
- 事務局； この三つ以外にもあるかと思われますので、三つに限定しないで、「農業の多角的な面を捉え、魅力ある産業として取り組む必要があります」に変更させていただきたいと思います。
- 委員； の文案の1行目の、「また地域ごとで地元の地域資源を再発見することで」という部分で、「ごとで」が2回続くので、最初を「ごとに」と訂正したらいいと思います。
- 事務局； それでは訂正をして、「また地域ごとに地元の地域資源を再発見することで」にしたいと思います。

- 会 長； ほかにありませんか。
ないようですので、これによろしいでしょうか。
- 一 同； 異議なし。
- 会 長； それではこれで一通り文案の審議は終わりましたが、これまでのところで何かありましたらお願いします。
- 委 員； 13ページ の文書の「地域資源を組み合わせることで、それぞれの資源が」と書いていますが、「地域資源」と「資源」の意味合いをはっきりさせておかないと、わかりづらいと思います。
- 事 務 局； 「地域資源」という決まった言葉ではなくて、地域の中にあるさまざまな資源という意味で書いています。
- 委 員； 最初の「地域資源」とは、他地区の「地域資源」ということですか。
そうすれば、「他地区の地域資源を組み合わせることで、それぞれの地域資源が持っている違いが活かされ、」にしたほうがよりわかりやすいと思います。
- 事 務 局； それでは、またの訂正で申し訳ありませんが、文案の1行目を「他地区の地域資源を組み合わせることで、それぞれの地域資源が持っている違いが活かされ、また地域ごとに地元の地域資源を再発見することで、その良さが発信されると考えます」に訂正をお願いします。
- 会 長； ほかにありませんか。
- 委 員； 11ページの暮らし応援プロジェクトに対する、答申文案の4行目の「災害が少なく思いやりがある」と書かれていますが、アンケートの項目を見ると「人情がある」となっていますので、そのまま書いたほうがよいのではないのでしょうか。
- 事 務 局； その通りに書かなければならないと思いますので、「災害が少なく人情がある」に訂正をお願いします。
【訂正後の答申文案の再確認】
本日は、間に合わなくて整理した答申文案はお渡しできませんが、後日お送りしたいと思います。
- 会 長； 以上、訂正すべきところは訂正しながら、答申案を一通りご検討いただきました。事務局には修正した答申案を、後ほど委員のみなさんに送っていただきたいと思います。
できあがったものを、15日に私と副会長で市長へ答申に行ってきます。

4. 報告

(1)「地域まちづくり組織」設立準備会の状況及びアンケート結果について

- 会 長； 報告について、事務局からお願いします。
- 事 務 局； 【各地域のまちづくり組織設立準備会の状況及びアンケート結果の報告】

5. その他

- 会 長； その他について、事務局からお願いします。
- 事 務 局； 2月15日に各地区地域審議会の答申を市長へ提出します。この答申を五つの

地区から受けた後、「(仮)定住の里づくりアクションプラン」を成案化していきます。

5月から、平成25年度から平成28年度の後期の実施計画の策定作業に入ります。その中に、いただいた答申の内容をできる限り反映させていきたいと思いますが、五つの地区の答申をまとめますので、神林地区の答申がそのまま反映されるとは限りませんのでご了承をお願いします。

現在の地域審議会の委員の任期が、3月までとなります。今まで大変ありがとうございました。

これから4月からの新たな委員の人選に入らせていただきます。現在の委員の方に引き続きお願いすることもあるかと思しますので、そのときはよろしくをお願いします。

会 長； それでは、閉会のあいさつを副会長をお願いします。

副 会 長； みなさん長時間にわたりご審議ありがとうございました。

2月15日に答申を会長と私で市長へ提出に行ってきます。

それでは、これで終了します。今日はありがとうございました。

6 . 閉会 (15:30)